

わっくわく祭り情報

9月21日（土）開催の第6回わっくわく祭り。利用者と職員による実行委員会が6月26日スタートしました。

行事企画やポスター、チラシ作りを進めています。次号でチラシを一緒にお配りします。お楽しみに！



第5回わっくわく祭りの最後を飾ったおかしまき



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

新紙幣の渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎は現代日本の土台を作った人々。努力を思いおこそかに使う。

新紙幣
近代改革
想いはせ

さかさかまぼこ

詠み人解説

トンボリ（道頓堀）にかかる橋は縁結びの橋だったようだが、自分を通して何も起きなかった。

トンボリの
ひっかけ橋に
我一人

山河水鏡

詠み人解説

紫蘇の花言葉は「力がよみがえる」でした。

赤紫蘇の
ジュース作って
夏を越す

山菜採りのおばさん

精神科医 土田正一郎の



その92 いつものように

長く生きている人にとっては、「いつものように」が一番良いと思っている。何年間にもわたってやってきたことだから、洗練され流暢にできる（はずだ）。もはや考えることなくできたりするから繰り返しによる経験は凄いものだと思ったりもする。ただ問題はいつものように何をするかである。「不平」「不満」がいつものように上手にできてもなあ。

各事業報告～7月20日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約／B型21人

グループホーム
よろこび

利用者数 20人 空室2室

K.S.C. Juntos

当事者選手 9人
サポートスタッフ 2人

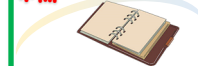
◆法人会員 正会員18人

賛助会員 団体6団体 個人47人

◆今年度寄付金 のべ8人 101,000円

◆寄付物品 牛乳パック、タオル、メロン
コーヒー豆

編集後記



今回は同友会で京極発電所を視察した話題を掲載しました。よく面積や容積を表すのに、関東では東京ドーム〇個分、関西では甲子園球場〇個分と表現しますね。今回の記事では札幌ドームでした。でも各球場の大きさはまちまちなので、これからは世界共通の陸上競技場がふさわしいと提案します。例えば国立競技場〇個分とか。以上誰得？な提案でした（笑）（かわさき）

通信

ともに

第110号

2024年7月26日発行
認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月一枚



今年も満開
じゃがいもの花
ワークショップ農場にて
7月13日撮影

コミュニティカフェ
わっくわく

ご来店者さま増 リピーターも

コミュニティカフェわっくわくは今年10月で開業9周年です。倶知安駅前の一息つける空間として少しずつ浸透してきたようです。

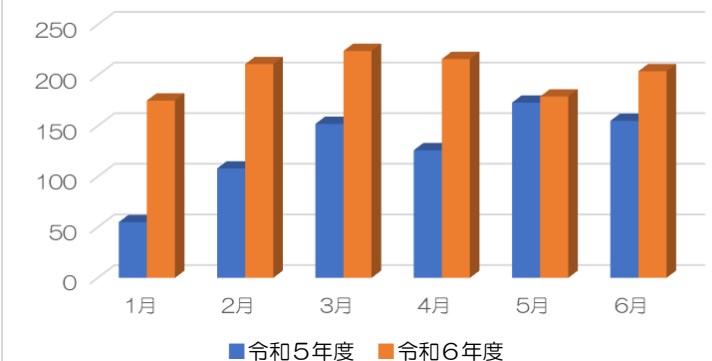
右のグラフは昨年と今年1月～6月の月ごとのご来店者数です。コロナ禍が明けた昨年と比べ、たくさんの方にご来店いただいております。

スタッフにお客さまが増えた理由について聞いたところ、こんな意見がありました。

- ①初めて来店する方に加えて常連さんも増えている
- ②ランチが野菜たっぷりの汁物やおかずで、しかも日々メニューが変わるのでリピーターが来やすい
- ③ランチとドリンクでセット注文しても千円以内で収まる（900円）

カフェの新しいお客さま向けに、期間限定でバナナケーキを作りました。他のケーキと同じ250円です。ご賞味ください。

月別ご来店者数



バナナケーキ

K. S. C. Juntos

北海道大会 7 位

6月29日、札幌市西区体育館で「第12回ソーシャルフットボール北海道チャンピオンズカップ」が開かれ、北海道内の9クラブで熱戦が展開されました。

グループステージを1勝3敗の4位としたK.S.C. Juntosは、7位決定戦で「ともにカップ」出場経験がある名寄市のUnited Heartsと対戦し4－1で快勝。7位となりました。

上位は各グループ2位までが決勝トーナメントに進出も各グループ3位まで勝ち点が並び、得失点差で決まりました。5年ぶりに大会出場した十勝精神障害者スポーツクラブアユターレ（帯広市）が、前回大会覇者のH.S. アリアンサ（札幌市）をPK戦の末下し優勝しました。



K.S.C.Juntos 今回の試合結果			
☆グループステージ			
	インテグリティ		
第1試合	対 INTEGRITY	●	2－3
第2試合	対 H.S.アリアンサ	●	1－3
第3試合	対 スマイル長野	●	1－6
第4試合	対 ふおれすと	○	4－1
（1勝3敗のグループ4位で順位決定戦へ）			
☆7位決定戦			
	対 United Hearts	○	4－1

最終成績	
1	アユターレ（帯広市）
2	HSアリアンサ（札幌市）
3	スマイル長野（札幌市）
4	WEST 5（札幌市）
5	ここりカ（札幌市）
6	INTEGRITY（所属チームのない選手による混成チーム）
7	K.S.C. Juntos（倶知安町）
8	United Hearts（名寄市）
9	ふおれすと（小樽市）

情報：北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

留寿都村福祉まつりで委託販売

7月13日に留寿都村社会福祉協議会主催の福祉まつりに、ワークショップようていからクッキーや手工芸品などを出品し販売していただきました。

当日は好天の中全世代を対象としたゲーム、健康相談、フリーマーケット、交通安全イベントなど盛りだくさんで、高齢者や親子連れを中心にたくさんの方が来場しました。



クッキーは塩、緑茶、おにぎり型の計3種類をセットにして販売



ワークショップようていの販売ブース
(写真提供：留寿都村社協)



幼児と高齢者の交流目的のスイカ割りゲーム

北海道電力京極発電所視察

写真① 上部調整池のパノラマ写真



写真② 発電所往來用のトンネル



写真③ 発電所内はとにかく広い



写真④ 函館支部 & 山麓地区会と一緒に



写真④提供：同友会函館支部

6月18日の中小企業家同友会例会は、函館支部が主催し、山麓地区会との交流の一環として北海道電力京極発電所へ視察に行きました。

京極町内の山中に設けられた「しょうぶちようせいち上部調整池」から、京極ダム（別名「かぶちようせいち下部調整池」）までの落差約400mを利用した水力発電所です。太陽光などで生じた余剰電力を利用して上部調整池まで水を汲み上げ、電力が必要な時間帯に京極ダムへ水を流し込んで発電します。北海道で初めて、国内でも数少ない「じゅんようすいしきはつでんしょ純揚水式発電所」です。

最初の視察地、上部調整池までは車で砂利道进行すること約40分。隣接している監視室の屋上へ上ると、写真①のようなため池が目飛び込みました。最深部は深さ60mで、札幌ドーム2.8倍の水量をたくわえることができる巨大なため池です。

続いて山を下り、写真②の深いトンネルを走り抜けると出て来たのは、2番目の視察地である山中をくり抜いてできた発電所（写真③）。2基の発電機の内部には「ランナ」と呼ばれる回転盤があり、揚水時は水のくみ上げをし、その後逆回転して流れた水で発電する二役を果たしています。現在は1基あたり約20万キロワットの発電（一般家庭7万戸の使用電気に相当）ができるそうです。

化石燃料エネルギーの代わりとなる再生可能エネルギーの行方が注目されています。水力発電はその一つとして北海道のライフラインを支える貴重な存在であることを改めて感じました。そして参加されたみなさんが熱心にエネルギーの質問をされていたことにも感銘を受けました。

（文中の数値は北電発行の資料より）